

協議対象施設 説明資料

(市民文化系施設・社会教育系施設・産業系施設)

第1回財政健全化推進市民会議検討部会(H27.11.13)資料

資料9

対象施設		現状と課題（基本計画より抜粋）	取組の方向性（基本計画より抜粋）	利用状況（平成25年度）			
市民文化系施設	【配置状況】	・設置目的の違いはあるが、特に明石駅周辺は、貸館機能を持つ施設が複数設置されている。ホールや貸館機能がどれだけ必要であるか検討が必要である。	共通の方向性	対象施設			
⑥集会・文化施設 市民会館 西部市民会館 基本計画 P 42,43	【改修・更新状況】	・市民会館は建築後40年、建物の劣化が進んでいる。 ・明石駅前再開発や本庁舎のあり方の議論と連動した検討も行う必要がある。	・施設の必要性、建物の劣化状況、利用実態等を踏まえ、廃止や複合化、集約化を進める方向で検討する。	市民会館			
	【利用・運営状況】	・一部の貸館スペース（西部市民会館のホール等）の稼働率が低い。		西部市民会館			
市民文化系施設	【配置状況】	・生涯学習センターは、明石駅近くに建築されたアスピア明石内に設置されており、利便性が高い。 ・生涯学習センターが津波一時避難ビルに指定されている。	共通の方向性	対象施設			
⑦生涯学習施設 生涯学習センター 基本計画 P 44,45	【改修・更新状況】	・アスピア明石は、平成13年に建築された建物であるが、大規模な改修が予定されており、当建物内に設置されている生涯学習センターについても、併せて改修を実施する必要がある。	・生涯学習全体のあり方を検討する中で、施設の必要性、建物の劣化状況、他施設の取組状況等を踏まえ、規模の適正化や周辺施設との複合化、民間活力の活用を検討する。	生涯学習センター			
	【利用・運営状況】	・生涯学習センターの一部の貸館スペース（調理実習室、ホール）で稼働率が低い。		生涯学習センター			
社会教育系施設	【配置状況】	・文化博物館は、市の歴史や文化、魅力を発信する施設として設置されている。 ・天文科学館は、市民の選ぶ「あかしのたからもの」の第1位に選ばれている。	共通の方向性	対象施設			
⑧博物館等 文化博物館 天文科学館 基本計画 P 46,47	【改修・更新状況】	・文化博物館は、建築後23年が経過し、劣化が進んでおり、改修が必要になっている。 ・天文科学館は、開館後54年、震災後のリニューアルからでも16年が経過しており、改修の必要箇所が増えている。	・長期的な視野に立って施設の整備、改修計画を策定し、施設の長寿命化を図る。 ・利用実態等を検証した上で、効果的、効率的な管理運営手法の導入を検討する。	文化博物館			
	【利用・運営状況】	・文化博物館は、指定管理者制度の導入で、開館日の増などにより利用者サービスが向上した一方、学芸部門の調査・研究体制の継続性に問題がある。 ・天文科学館は、平成22年度の展示コーナー等の一新後、入館者数は順調に推移している。	個別の方向性	文化博物館			
			【文化博物館】	天文科学館			
			・利用実態等を検証した上で、施設の有効活用を検討するほか、管理運営体制の見直しについても検討する。	天文科学館			
			【天文科学館】	天文科学館			
			・長期的な視野に立って施設の整備、補修計画を策定し、施設の長寿命化を図る。	天文科学館			

対象施設		現状と課題（基本計画より抜粋）	取組の方向性（基本計画より抜粋）	利用状況（平成25年度）			
社会教育系施設 ⑨図書館 市立図書館 西部図書館 基本計画 P 47,48	【配置状況】 ・市立図書館として、明石公園内に設置しており、県立図書館が隣接している。 ・平成28年12月に、明石駅前再開発ビル内に、（仮称）市民図書館として移転する予定である。 ・市立図書館には、移動図書館基地や書庫の他、生涯学習センター分室も併設している。 ・西部図書館は、西部市民会館内に複合施設として設置しており、1階に開架エリア、2階には読書室のほか、貸室としての会議室や研修室がある。 【改修・更新状況】 ・市立図書館は、建築後40年を経過し、劣化が進んでおり、耐震改修も未実施である。 ・西部図書館を設置している西部市民会館は、平成11年に建築したものであり、建物は良好である。 【利用・運営状況】 ・市立図書館の明石駅前への移転後の建物の活用方法について、早急に結論が求められる。 ・西部図書館については、市立図書館と同等程度の利用状況となっているが、貸室の稼働率としては低い。	共通の方向性 ・図書館のあり方を検討した上で、基本方針にかかる原則に基づき、公共施設配置適正化に向けた取組手法を検討する。	対象施設 市立図書館 貸出件数 199,585件 貸出冊数 939,778冊 蔵書数 319,797冊 西部図書館 貸出件数 167,228件 貸出冊数 794,264冊 蔵書数 127,933冊 貸館 床面積 定員 稼働率 会議室 39m ² 24名 24% 研修室 76m ² 44名 22%				
産業系施設 ⑩産業系施設 産業交流センター 勤労福祉会館 中高年齢労働者 福祉センター （サンライフ明石） 基本計画 P 71,72	【配置状況】 ・産業交流センター、勤労福祉会館、サンライフ明石については、それぞれ産業振興、労働者や中高年齢労働者の福利厚生を目的に設置されている。 ・勤労福祉会館が、避難施設及び津波一時避難施設に指定されている。 【改修・更新状況】 ・産業交流センターは、平成10年に建築されており、建物は良好であるが、その他の施設は建築後20年から30年を経過し、劣化が進んでおり、改修が必要になっている。 【利用・運営状況】 ・産業交流センター、勤労福祉会館、サンライフ明石は、設置目的にかかわらず広く市民に利用されているが、一部の貸館スペース（会議室）の稼働率が低い。	共通の方向性 ・産業系施設のあり方を検討した上で、基本方針にかかる原則に基づき、公共施設配置適正化に向けた取組手法を検討する。	対象施設 産業交流センター 利用者 189,537人 貸館 床面積 定員 稼働率 展示場 872m ² 800名 38% 勤労福祉会館 利用者 131,181人 貸館 床面積 定員 稼働率 和室 50.18m ² 30名 41% 第1会議室 36.56m ² 14名 62% 第2会議室 32.77m ² 12名 66% 第3会議室 65m ² 22名 43% 第4会議室 166.25m ² 100名 48% 第5会議室 133m ² 80名 52% 第1講習室 86.64m ² 30名 50% 第2講習室 90.5m ² 30名 49% 体育室 742.6m ² 500名 96% トレーニング室 270.04m ² — 97% 中高年齢労働者福祉センター（サンライフ明石） 利用者 64,137人 貸館 床面積 定員 稼働率 職業講習室 50m ² 20名 74% 研修室 84m ² 48名 60% 教養・文化室 54m ² 24名 74% 会議室 40m ² 12名 66% 体育室 416m ² 200名 99% トレーニング室 186m ² — 87%				